

## 平成 21 年度岡山県医療対策協議会 産科医療対策部会の概要

- 日 時 : 平成 22 年 2 月 19 日(金) 14:00~16:00
- 場 所 : ピュアリティまきび 飛翔
- 出席者 : 別紙のとおり(周産期医療協議会との合同会議)

### 【周産期応需情報システム等について】

・今までの顔の見える関係の中での搬送先を決定する体制に加え、この度の応需情報システム更新に伴い、その活用を促すため、できるだけ入力項目等を簡素化するとともに、多忙な医療機関において、リアルタイムでの入力が可能となるよう携帯電話による入力についても検討することとされた。

### 【岡山県周産期医療体制整備計画について】

・計画策定チームの構成員を決定するとともに、今後のスケジュール等について確認を行った。計画は平成 22 年度中に策定することとされた。

### 【岡山県地域医療再生計画について】

・地域における医療課題の解決を図るため、2次医療圏単位での医療機能の強化、医師確保等の取り組みその施策について策定した。  
・対象二次医療圏は津山・英田、高梁・新見及び真庭地域とし、計画期間は平成 22 年度~平成 25 年度としている。

### 【医師等確保について】

・県北小児科医師 2 名増員される予定。  
・県北では医師も不足しているが、看護師の不足も深刻である。医師、看護師の確保や定着対策について、効果的な方法を検討してほしい。  
・県下の養成数 1,400 名に対し、残るのが 700 名で半分程度となっている。県内に定着してもらうことが重要であり、職場体験等様々な事業を企画しながら、獲得に努めたい。

### 【その他】

・県北にて仮死状態で産まれた子が助かっても、障害を負った子供の受け入れや訓練施設がない。2時間かけて県南まで行かなければならない。